

藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

593

続く予期せぬ出来事

予期せぬ出来事③

私が生きて来た78年間、いが、いったん、体のバラ特に最近の50年間はコンが崩れると、元の状ピューターをはじめいろん態に戻るのには時間が必な科学技術、医療が進歩要なのだろう。

しかし、最近自分のカーである。心臓の動きを助けるため、自分の体内に植え込まれて20年が次々に起きている。

広島、岡山、愛媛を中臓とペースメーカーを結ぶ心とする平成最悪の水害。リード線の断線などは全テレビを見ていて、こんな予期しなかったことだ。

人間が万能であるがご起ころたら、体調不良の自とく思い、過信がなかった分は生きてはいないだろう

かと思える。新しいペースメーカーとリード線を植水死などで亡くなられえ込んだものの、依然た人は、今も不明の人を体調不良が続いている。加えらると230人。生き血液検査などの結果は少残った人たちも、家屋はしずつ改善されているらし

でも避難生活を強いられ返つてみる必要があると思

これは日本に限らず、世界各地で異常気象が起

何か、余りに人間中心に自然を軽視した結果が

この地球を覆っているよ

な気がする。しかし強大

その指導者は自国優先で、

環境問題や人権問題に背

を向けているように思えて

ならない。

除けば、一応選挙などで

選ばれた人なのだから、

何か未来に絶望的なもの

を感じる。まだ今の時代

の人々はいい。しかし、次

世代の人々に今の負担が

先送りされていることも多

い。

ち止まって、歴史を振り

返つてみる必要があると思

うのは私だけではあるま

い。

豪雨被害は下松の自分

の家の前でも起こった。前

の山が幅5m、長さ10m

にわたって崩れ、道路を

覆った。幸い人的被害も

ない。全国から見れば取

るに足りない出来事。

しかし、今回の水害も

自然を軽視し、開発した

結果といえないこともな

い。便利さを求め、自然

を破壊して宅地造成した

ことに、因果関係がある

ように思える。

空き家が目立つ半面、

新築も目立つ。もともと今

でのものを大切にし、自然

と共に地道に生きることの

大切さに目を向けるべきと

思うのは、弱者の弱音だ

ろうか。

人としてどうすること

も出来ない予期せぬ出来

事も多い。しかし、生き

方を少し変えれば予期出

来たものもあるような気

がする。余りに人間が人

間を過信しすぎてきたも

もある。

体調不良の自分の状況

を見ながら、もう自分が

過去の、また社会的弱者

であることを自覚する。

予期せぬ出来事と処理せ

ず、小さなその兆しに目

を向け、人間の過信に気

付く時が来ているように

思える。

抽象的なことばかり書

いたことをお許し願いた

い。



我が家の前の山も土砂崩れ